

題字 草原田 親

No. 1045

2025/5/1

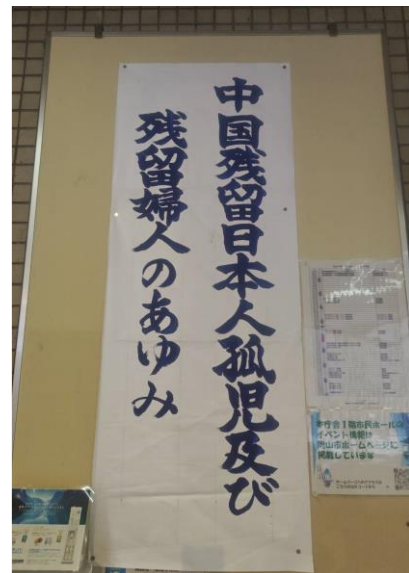
日中友好新聞

発行所
日本中国友好協会
〒111-0853
東京都千代田区浅草橋2-2-3
浅草橋5-5-5 5F
電話 03(5839)3140(TEL)
FAX 03(5839)2141
http://www.jcfa-net.jp
E-mail:jcfa@jcfa-net.jp
振替 00110-1-21176

日中友好協会
岡山支部
〒705-0034
岡山市北区下伊福
西町1-50 民生会館1F
TEL/FAX 0861256-1806

日中友好協会
倉敷支部
〒712-8031
倉敷市福成町通2461-45
TEL/FAX 0861416-7806

日中友好協会岡山支部ホームページ
<http://rizhongyouhao.iinaa.net/>
メールアドレス
nicchuckayama@yahoo.co.jp



「残留孤児問題写真展」

岡山市役所で展示

2025年4月15日から3日間市役所1階ロビーで標記の展示会を行いました。青木康嘉先生が作製した柳樹河開拓団の様子で、岡山県出身者513人が入植してその中で111人は生きて帰れなかったそうです。

次に小規模多機能ホーム「いほり」の紹介がありました。開業以来順調に利用者を増やしているそうです。利用者さんの楽しそうな様子が展示されていました。中国語のできる職員が多くいるので残留孤児さんの利用者などに重宝されているそうです。

最後に太極拳の展示がありました。3日間日中友好協会の役員が順番で対応しましたが、100人近くの人が熱心に見たり質問したり足を止めてくれました。

河井伸士

市役所の展示

小川涼子

4月15日～17日にあった市役所での中国残留孤児の展示に関わった。

15日に貝吹さんと一緒に朝から受付をしていた。見学者も少なくのんびりおしゃべりしていると、山陽新聞の取材があった。あるとは聞いていたが聞いていただけで、何も詳しくないのではつくりと答えられない。展示がいつから始まったかとか、知らんがな。戦後80年だけど日中友好協会でなにかするかなんて、そんな話まったくないけど、これは「じません」ってはっきり言っちゃおえん気がする。というわけで、あわてて青木先生や真田支部長に電



話をかけた。なんとか通じた真田支部長に丸投げである。

その後、静けさを取り戻してから、展示をじっくりと見た。

今回は柳樹河開拓団の話だった。はじめの方で地図があつたので、とりあえず小林軍治さんがいたという竜爪を探す。柳樹河は探し忘れた。

写真や地図を見て、説明文を読んで、へえーこんなところもあつたんだーと思った。たぶん時間がたつて思い出すことがあつたら、青木先生の言つた柳樹河のこと、そして馬に乗った少女や、畳に並べられたスプーンのことだろう。

戦後80年らしいから。私にとっては父母

ですら生まれる前の話だ。これからどんな時がたつほどに、第二次世界大戦も関ヶ原の戦いとか赤壁の戦いなんかと変わらなくなる。私がほんの少し、関ヶ原や赤壁より第二次世界大戦を重く感じるのは、軍治さんのいた竜爪とか、青木先生の残留孤児の話とか、二胡を弾く高杉さんの昔の話とか、そういった経験者、研究者の話をじかに聞いて、そのつながりがあるからに違いない。

青木先生の展示に、語り部活動の様子があつた。戦後80年というなら、細く途切れそうになっている記憶を、少しでも残す活動は、今やらなければならないことなのだろうと感じた。

岡山市役所での展示について

初めて市役所1Fロビーでの展示を見に行きました。仕事の関係で、1日だけ遅い時間にしか行けませんでしたが、小川さんと真田さんと展示のパネル作成の過程を見ていたので、どのような感じに展示されているのか、また、他のパネルがどのように作成されているのかを知りたいというのもありました。

ちょうど私が訪れた時には青木先生がいまして、見学に来られた方に残留孤児についての説明をされていました。見学者の方の邪魔にならないように少し離れたところで聞いていましたがとても分かりや

裏へ続く※

※詳しい説明で聞き入ってしまいました。

どのパネルも、テーマごとにそれぞれの個性が出ていて、興味深かったです。

とても雰囲気が出ているうえに、かなり時間をかけて作られているのが感じられました。

時間を作って見学に行けたのはよかったですと思いました。

田中栄子

2025年3月27日木曜日、18時半から岡山芸術劇場ハレ

ノワ大ホールで、左の写真で紹介する舞劇 **Dance Drama 朱鷺**の公演がありました。

創価学会の広報委員の大石さんからご招待があり、私と小川さんで鑑賞に行ってきました。

上海歌舞団の公演は今回か鑑賞したことがありましたが、今回の舞劇のようなものは初めて見ました。

朱鷺を象徴するトウシューズの先だけが赤い色だということが、とても際立っていました。それにダンサーの衣装の色が淡い朱鷺色であることも視覚的に印象に残ります。

ダンサーの動きも鳥のついでな行為を特徴的にとらえてい

て、今までに見たことのない表現方法でした。

朱鷺のたどる運命は、人間の生産活動の結果であり、私たち日本人に忸怩たる思いを感じさせ、(日本での最後の朱鷺が絶滅したこと、現在は中国から譲られた朱鷺が繁殖していること)それを表現して見せてくれている。

すばらしいダンスを見せて頂いた事感謝しております。

真田紀子

「朱鷺」を観に行った

3月27日岡山芸術創造劇場ハレノワに、日中友好記念作品 舞劇 Dance Drama 朱鷺を観に行った。

初バレエ鑑賞である。観劇というものにまったく興味が無い人間なので、招待券をもらわなければ絶対に行かなかった。観客としてド素人である。

そんなわけだから、ひらひらと羽のように薄布をひらめかせる女性が出てきた時、ちようちよかな?」と思った。

朱鷺

気付くまでしばらくかかった。女性が薄布を置いて、鳥のような動きがはつきりと見てとれるようになってから、ようやく気付いたのだ。

ふむ、たった2時間ほどしかないのだから、よいいなものを登場させている場合ではないのだろう。

朱鷺を真似した独特の奇妙な動きにずっと見入っていた。どうやったらあんな動きができるのだろうか? うちに帰って試しにやってみようとしたが、二の腕の筋がやられそうになったので、やめた。

小川涼子



公園で太極拳

3月30日の日曜日

太極拳メンバーの交流と日頃の鍛錬の成果発表、戸外で表演する度胸づけ、自信にもつながります。そして大勢の人に見てもらおう、知ってもらう、普及活動の一環として行っています。そしてなりより外気浴しながら太極拳は室内より数倍気持ちがいいです。

私はほぼ毎週日曜朝ここで太極拳しているので1足早く来ましたが、2〜3日前の暖かさが嘘のような花冷え、やっと10時頃から日が差し始め、準備運動練功18法、音の景気の良い扇から始まり、24式。寒かったので五歩拳、小休憩を挟み48式、42式。まだ習っていない人も見様見まねで参加してください



北前船が目印にしていたのでは?の木を見たりあちこち散策。ランチタイムを過ごし、自由解散しました。また戸外で太極拳企画します。是非ご参加ください。

岡田民

次回の新聞発送作業は
5月13日(火)午前10時半から
民主会館2階で行います。
前回お手伝いくださった方です。

井飼田
河犬真